

## 活力ある産業基盤の整備

登米市は、米、野菜、肉用牛などを中心に多様な農畜産物を生産し、農業が基幹産業として地域経済活動に重要な役割を果たしています。しかし、農業従事者の高齢化や兼業化、後継者不足などが進行

し、耕作放棄地の増加も懸念されるなど、農業を取り巻く環境は厳しさを増しています。平成17年3月に政府が策定した基本計画に基づき、農業者、農業団体、地方公共団体さらには消費者を含めた国民全体の共通認識のもとに、食料・農業・農村の果たすべき機能が将来にわたり十分発揮



されるよう、その施策を総合的かつ計画的に推進し、魅力ある農村の構築を目指していきます。

- 担い手の確保・育成
- 経営改善への取り組みに対する相談・支援活動
- 農用地の利用集積による土地利用の推進
- 地域循環型農業の推進
- 農畜林産物のブランド化
- 水稲種子採種事業の推進
- 地産地消の推進
- 家畜排せつ物の適正管理の指導
- 資源循環による環境保全農業の推進
- 登米市の銘柄づくり促進
- 園芸作物生産出荷体制の整備・拡充
- 登米市青果物価格安定相互補償制度の実施
- 土地改良施設などの管理体制の整備
- 農業用水浄化事業などの検討
- 生産基盤整備の推進
- 中山間地域の基盤整備促進
- 造林、間伐、主伐などの森林施業、林道や作業道の整備
- 公共施設の木造・木質化の推進
- 商店街の活性化促進
- 企業誘致
- 観光案内機能の強化
- シルバー人材センター支援

## 生活環境基盤の整備

急速に高齢社会が進む中、道路整備に対しての考え方が変わりつつあります。

歩行者への安全の確保を第一に考慮しながら、快適な生活環境、交通環境の整備を進めていきます。

- 三陸縦貫自動車道、みやぎ県北高速幹線道路の高速交通道路網や関係するアケセ又道路の早期完成の促進
- 自転車歩行者道や交差点改良などの整備促進
- 各河川の整備促進



- 長沼ダム建設事業の促進
- 通学路・生活関連道路の整備
- 市道の舗装補修、排水処理などの維持管理の充実
- 公営住宅マスタープランなどの住宅整備計画の策定
- 木造住宅の耐震診断助成事業、耐震改修工事助成事業の推進
- スクールゾーン内の危険ブロック塀などの除去助成事業の推進
- 公共下水道事業、特定環境保全公共事業、農業集落排水事業、浄化槽整備事業の推進

## 教育環境の整備

教育委員会では「登米市教育基本方針および教育重点施策」を定めています。

社会の動向と市の将来を展望し、教育設備の整備充実を図りながら、生涯学習を基軸とした学校教育、社会教育の一貫した教育の充実発展を目指していきます。

- 基礎学力の定着、進路指導の充実
- 学校評議員制度の導入
- 市民、団体、行政が組織す

生涯学習推進本部の設置

- 生涯学習推進計画の樹立
- 生涯学習推進大会の開催
- 生涯学習センターの整備
- 公民館などの機能の充実
- 各施設間のネットワーキングによるサービスの均一化
- 地域コミュニティと学校の連携事業の実施
- 家庭教育の取り組み推進
- 青少年育成行動推進会議の創設
- 芸術文化団体活動の支援
- 保存伝承活動の支援
- スポーツ振興基本計画の樹立



## 情報通信基盤の整備

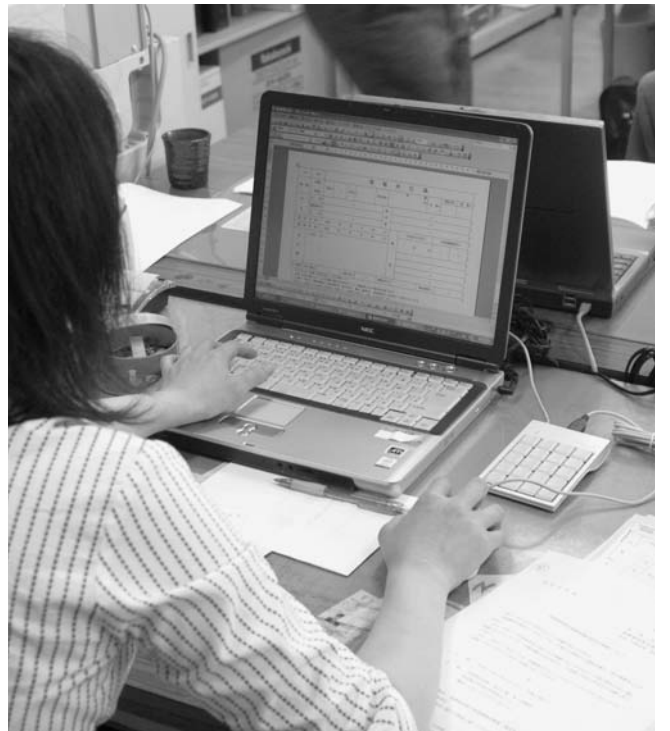
- 総合型地域スポーツクラブの拡充・支援
- スポーツ団体・サークルの育成支援
- スポーツ施設の有効活用促進

新市の電算システムについては、住民基本台帳や戸籍、税といった基幹系業務が本年4月1日から本格稼動し、市民福祉の向上に寄与しています。また、支所、出張所、公民館、小中学校、病院、消防署などを光ケーブルなどで接続し、行政ネットワークを構築しています。

さらに、情報の外部流出防止や防御などシステムのセキュリティ対策を徹底し、行政情報の保護に万全を期していきます。

地域情報化については、まちづくりの強力な推進力として、インターネットなどを通じて行政情報・生活情報の提供など、マルチメディア時代に対応したまちづくりを推進していきます。

- 市民との双方向コミュニケーション機能の強化
- 地域情報化計画の策定
- 情報通信基盤の整備



## 登米市総合計画の策定

最後に、行政改革の推進と住民の創造力を活かすまちづくりについてであります。

新市の進むべき道筋を市民の皆さんにお示しし、ご理解とご協力をいただくためにも、登米市総合計画の策定に着手いたします。また、総合計画と連動する国土利用計画、過疎計画の策定も並行して進めていきます。

- 市章・市民憲章の制定
- 登米市循環パスの試験導入
- 国内、国際交流の推進
- 登米市国際交流協会の設立

- 運営支援
- 自治組織、コミュニティ活動の充実
- 男女共同参画の促進
- 非営利民間組織（NPO）、各種民間団体の活動支援

以上、平成17年度の市政運営について、予算の主要施策概要を中心に所信を申し上げます。

新市が発足した本年を「新市の政策元年」と位置付け、「市民の皆さんとともに考え、ともに歩む市政」を基調として、市民一人ひとりの夢と希望が叶えられる新しい「登米市」の創造のために、全力を尽くしていきます。